

華藏寺通信

檀信徒会会長挨拶



例年より遅い木々の紅葉が、短い秋と早い冬の到来を感じさせる今日この頃です。令和元年も残すところ後わずかとなりました。この一年、本当に諸々の出来事に驚かされ通してでしたが、特に度重なる台風による大きな被害は今なお多くの方々に様々な辛苦を与え続けています。私はこのようなニュースを聞く度、将来への不安や社会の在り方について私達ももっと再考する必要性を警告してくれているのではと心底思ったりいたします。

喜ばしいこととしては大嘗祭という新天皇即位の数々の儀が、つつがなく終えられたことです。が、この華藏寺におきましても藤井祐順住職が天台宗座主より許可いただき新任職として誕生いたしました。

過日、役員の方々と共に私もその拜命式に参列させて頂き、お傍近くでお座主様のお言葉を拝聴する榮に恵まれました。厳肅な中、八月に惜しくも突然に遷化なされた祐順大僧正のお顔が脳裏に浮かび、ご一緒にこの式に参列されて様子を見守っておられるような感覚に陥りました。

新任職は、この華藏寺において本年十一月三十日にご結婚の挙式もなさいました。これら度重なる慶び事が源となり、華藏寺の益々強い護持になってくれるものと確信いたします。

私達檀信徒会も精一杯のご協力をさせて頂き、また前任職のご遺言事業推進にも励み努めてまいりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご協力を切にお願い申し上げます。挨拶とさせて頂きます。

華藏寺檀信徒会会長

川端護

新命住職挨拶



謹啓 師走の候、檀信徒の皆様におかれましては、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は華藏寺護持に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、前任職 藤井祐順が八月二日に遷化致しました。急遽、檀信徒会臨時総会の議題に、先々代と同じく葬儀寄付金の議題を加えさせて頂き、皆様の議員である世話人様のご承認を得て、お檀家様のお力添えにてあのような盛大な葬儀を執り行うことができました。親族を代表致しまして心より感謝申し上げます。

また、この度、天台宗より華藏寺住職の認可が下され、川端檀信徒会長をはじめ役員様と共に、比叡山滋賀院門跡に参拝し、天台座

主猊下より直々にお言葉を頂戴して華藏寺住職を拜命致しました。華藏寺住職になるにはまだまだ浅学非才でございますが、役員様・世話人様、また檀信徒の皆様力を得て、華藏寺護持のために精進してゆく所存でございます。これからも華藏寺の発展の為に、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

新命住職 藤井祐順 合掌



滋賀院門跡にて

趣意書

華蔵寺本堂内部改修 並びに永代供養塔建 設 ご寄付のお願い

歴代の世話人様や皆様のご先祖様に守って頂いたこの華蔵寺は、八七二年に第五代天台座主智証大師 円珍様によって開山されたお寺です。現在の本堂は江戸時代に火災にあい一八〇年ほど前に再建した本堂ですが、至る所に修理箇所が出てきております。十七年前の屋根ふき替え工事は、ひどい雨漏りの状態を見かねて当時の世話人様の口添えにより改修して頂きました。今回は天上と床、内陣（本尊様周辺）の修理や、仏像の修復を伴う本堂内部の改修を行う予定です。運慶作と伝えられる本尊の秘仏釈迦牟尼如来を安置する菊の御紋入りのお厨子や、数々の仏像も色が剥がれ、装飾品が落ちてきています。

また近年、墓地の移転の為に「改葬」、身内が遠方で墓の管理ができず「墓じまい」が増えてきております。本堂裏堂には墓地を持たない方のお骨が複数体あり、いまだに安置させてあげることができない状態となっています。

未来永劫お檀家様のご先祖様をお護りする本堂を再興し、この後、数百年は改修の必要の無い本堂となり、墓地を持たなくなるであろう次世代へ負担が少なくなるよう、この建設事業のご寄付をお願いする所存でございます。

このご寄付の為に檀信徒会臨時総会を目前にして、急遽遷化してしまつた前任職の遺言であるこの事業に対しまして、世話人様のご厚意によりご承認を頂きました。諸事多端で出費の重なる折、誠に恐縮でございますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

合掌

華蔵寺住職 藤井祐幹
建設委員会一同

寄付金額

工事予算	(単位：円)	
摘要	収入	支出
檀信徒寄付金 1口 30,000円×1,000名	30,000,000	
建設資金積立金	5,703,000	
華蔵寺 並びに前任職：藤井祐順	34,369,840	
本堂工事費 小林社寺		49,114,940
仏像修理費 放光		9,200,000
永代供養塔 アマガイ石材		11,757,900
合計	70,072,840	70,072,840

各家につき参萬円

一括払い、もしくは一年につき一万円のご寄付を賜れば幸いに存じます。

また、今回までの建設資金積立金も活用させて頂きます。その他は全て華蔵寺の負担とさせて頂きます。そして前回の赤門寄付と共に、今回の改修寄付金ご芳名も本堂内に掲げさせて頂きます。





① 右上
雨漏りで変色し、歪んでしまった天井

② 左上
長年の乾燥により隙間だらけの床

③ 左
床の劣化により傾いた須弥壇（本尊を安置する場所）

④ 右
損傷が激しく、剥がれ落ちそうな土壁

⑤ 右下
塗装が剥がれ、炎や手が折れている不動明王

⑥ 左下
装飾品が剥がれ落ちた秘仏本尊（伝運慶作）を守る厨子



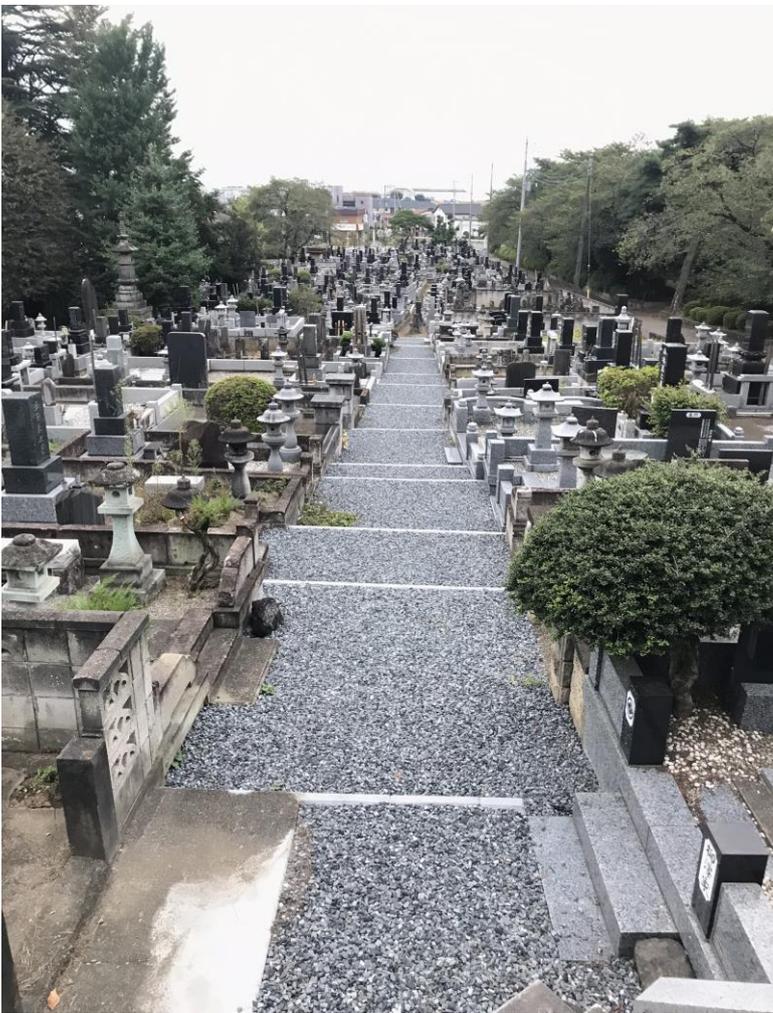
境内墓地通路

整備寄付

寄付者

日正重機建設社長
田島洋様

華蔵寺は他寺様のよう墓地を整備する為の管理費をお檀家様から頂いておりません。年末に皆様に頂いている護持会費のほとんどは、比叡山に納める宗費となります。近年は夏の台風で高台の砂が流れ落ち、排水溝が埋まって巨大な水たまりができてしまう事もありました。その様子を見かねて、田島社長の申し出により、通路を整備して頂きました。心より感謝申し上げます。



元日 開運厄除 護摩祈願法要

元旦の年始受けと共に、厄除護摩祈願を行っております。ご希望の方はご来寺下さい。

令和二年一月一日

一座 午前十一時開始

二座 午後二時開始

厄除大般若法要

『大般若転読会』は、年に一度、天台宗伊勢崎部の寺院住職十五名が総出仕される、特別な祈願法要です。全部で六百巻ある大般若経を上から下へと流し読み、それによって起こる清らかな風にあたることで昔より『厄除け・無病息災』などのご利益があると言われています。どなたでも参拝できますのでご参拝下さい。



令和二年一月十二日(日)
午後三時三十分開始

家族葬は華蔵寺で

本来、葬儀は施主を後押しするため大勢で行うものですが、近年、家族葬が増えて参りました。故人様にもゆかりの深い歴史ある華蔵寺で葬儀を営みたいお檀家様には、本堂をお使い頂けますので華蔵寺へご相談ください。